

## VII その他

### 1 カウトレーナーを上手に使おう

T型カウトレーナー（市販）



鎖式カウトレーナー（市販）



鉄筋と鎖式カウトレーナー（自作）

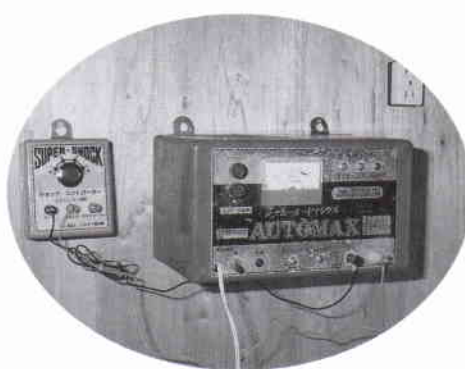


カウトレーナーは糞尿溝に糞尿が確実に落ちるよう、適正に設置しましょう。



カウトレーナー専用器

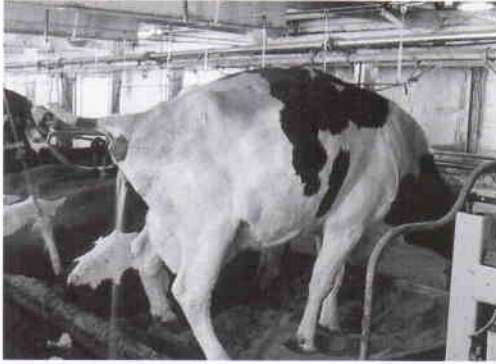
電圧調整機能付きのカウトレーナー専用器か、電気牧柵器にカウトレーナー専用のショックコントローラーを接続して使用します。



電器牧柵器とショックコントローラー



アース棒は絶対に畜舎内の配管等を利用してはいけません。必ず、畜舎外に埋設します。



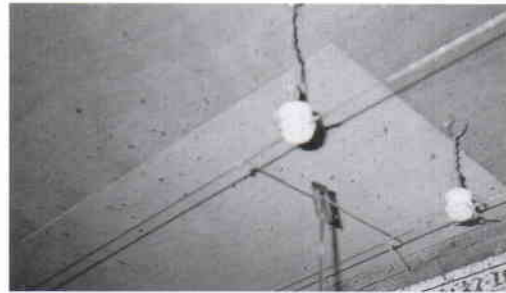
カウトレーナーの設置位置は丸く盛り上がった牛の背の前方上方にあります。この位置が正しくなければ、十分に機能しなかったり、牛に大きなストレスを与えることになります。

そして、この設置位置は牛ごとに異なります。

そこで、ワイヤーを一本追加して、上下だけでなく前後の動きを可能にしてみました。

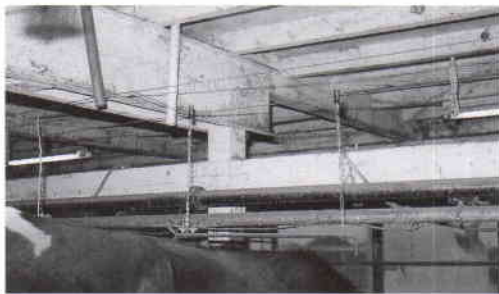


ターンバックルを利用してワイヤーを2本張ります。

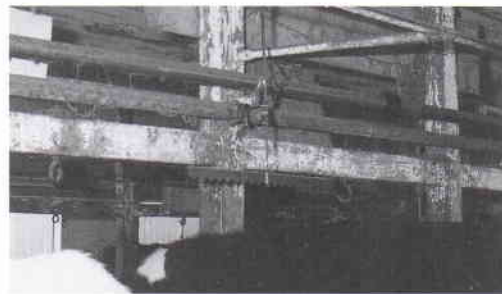


2本のワイヤーの間に針金をわたし、前後に可動できるようにします。

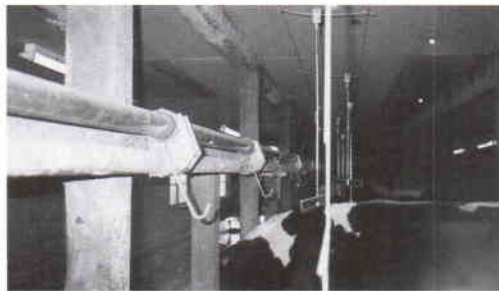
設置例



正しい位置に設置



前すぎて、さらに牛体から離れすぎ



牛体に近づきすぎ



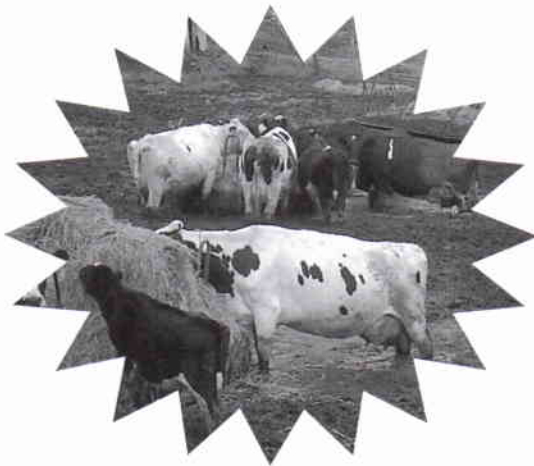
後ろすぎて、さらに牛体に近づきすぎ



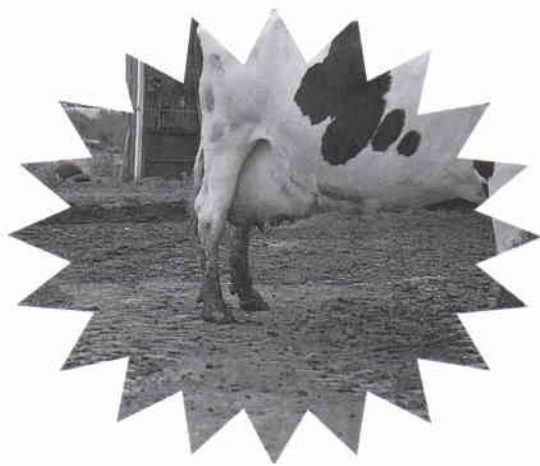
迷走電流測定器具



推肥場を通過して放牧地へ



ドロ沼パドックと草架



ブラックソックス



砂牛舎でのクリーン・ドライな前蹄



小さい頃からのふれあいにより  
牛の気持ち分かる観察力を養います